

# 通信／バックアップ



通信／バックアップについて.....	13-2
<b>赤外線通信</b> .....	<b>13-3</b>
赤外線ポートの向き.....	13-3
データを送信する.....	13-3
データを受信する.....	13-4
<b>USB 接続</b> .....	<b>13-5</b>
USB 接続でできること.....	13-5
カードリーダーモードでデータを送受信する.....	13-5
<b>メモ리카ードバックアップ</b> .....	<b>13-6</b>
メモ리카ードバックアップ時のご注意.....	13-6
メモ리카ードにバックアップする.....	13-7
メモ리카ードから読み込む.....	13-7
メモ리카ードに自動バックアップする.....	13-8
<b>S! 電話帳バックアップを利用する</b> .....	<b>13-8</b>
ご利用いただく前に.....	13-9
同期に関する注意.....	13-9
電話帳の同期を行う.....	13-10
電話帳の自動保存設定を行う.....	13-10
<b>便利な機能</b> .....	<b>13-10</b>
S! 電話帳バックアップ.....	13-10

## 通信/バックアップについて

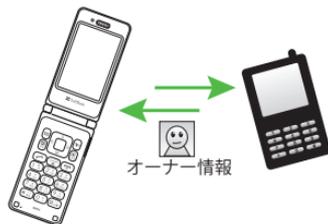
本機では、赤外線通信などを利用したデータのやり取り、S! 電話帳バックアップを使ったバックアップを利用できます。  
この章では、データのやり取り、バックアップについて説明します。

※ S! 電話帳バックアップは、ソフトバンクが提供する有料のオプションサービスです。

### データのやり取り

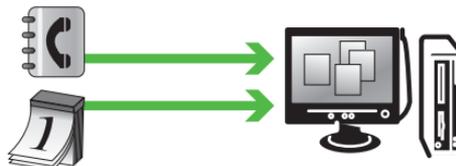
本機では、次の機能を使ってデータをやり取りできます。

- 赤外線通信(☞P.13-3)
- USB 接続(☞P.13-5)



### もしものときのバックアップ

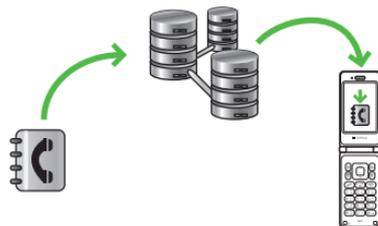
本機では、メモリーカードやパソコンにデータのバックアップをとることができます(☞P.13-6)。



S! 電話帳バックアップを使ってサーバにバックアップをとることもできます。

S! 電話帳バックアップを使うと、本機の電話帳データが消えても電話帳を復元できます。

バックアップをとった電話帳は、パソコンで編集することもできます(☞P.13-8)。



## 赤外線通信

本機など赤外線対応の携帯電話や、他の赤外線通信対応機器（パソコンなど）と無線で接続し、データの送受信ができます。

- 本機の赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
  - 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
  - 電話帳、オーナー情報、カレンダーのスケジュール、予定リスト、静止画、動画、音声ファイル、音楽ファイル、Flash®などを送受信できます。
- また、電話帳、カレンダー／予定リスト、ブックマーク、メモ帳、受信ボックス、下書き、送信済みボックスを一括で送受信できます。

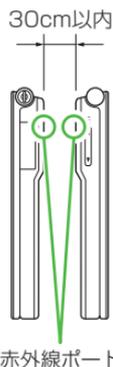
- 認証コードは、赤外線通信機器どうしが接続するためのパスワード(4桁)です。データの一括送受信では、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

### 注意

- インターネットの利用中、メールやデータの編集中等などは、赤外線通信でのデータ送信は行えません。
- 受信したデータの内容によっては、本機に正しく登録できなかったり、一部登録できないことがあります。

## 赤外線ポートの向き

- 受信側、送信側のソフトバンク携帯電話（または赤外線通信対応機器）を、30cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。



- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままの状態にして動かさずにください。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 正常に通信できないときは、再接続の確認メッセージが表示されます。「赤外線ポートの向き」を確認したあと、「はい」を選択して再接続してください。

## データを送信する

事前に送信先を受信待機の状態にしておきます。

### データを1件ずつ送信する

#### 1 データの送信操作

- 一覧画面で →「送信」→「赤外線通信」→データをチェック→ (送信)

- 機能によっては詳細画面や再生画面のメニューからも送信できます。

### データを一括送信する

#### 1 →「赤外線」→「全件データ送信」

#### 2 操作用暗証番号を入力→ (OK)

#### 3 「電話帳」／「カレンダー／予定リスト」／「ブックマーク」／「メモ帳」／「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」

- 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

#### 4 認証コード(4桁)を入力→ (OK)

## データを受信する

### 注意

- ・誤動作防止中やソフトウェア更新中にデータ受信は行えません。

## データを1件ずつ受信する

- 1 **☐** →「赤外線」→「受信」
  - ・データ受信の待機状態になります。
- 2 相手側機器から3分以内にデータを送信
- 3 保存の確認メッセージが表示されたら「はい」
  - ・画像ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」/「デコレメピクチャー」から選択します。
  - ・絵文字ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」/「デコレメピクチャー」/「マイ絵文字」から選択します。
  - ・Flash® ファイルを受信するときは、保存先を「Flash@」/「着信音Flash@」から選択します。
  - ・受信を中止するときは **⏏** (キャンセル) を押します。
  - ・受信を強制終了するときは **⏏** を押します。

- ・vcf ファイルに着信画像が含まれる場合、着信画像のサイズが100Kバイトを超えると画像を削除して電話帳に登録します。

## データを一括受信する

- 1 **☐** →「赤外線」→「受信」
  - ・データ受信の待機状態になります。
- 2 相手側機器から3分以内にデータを送信
- 3 認証コード(4桁)を入力→**☐**(OK)
  - ・送信側と同じ認証コードを入力してください。
- 4 登録方法の選択操作
  - 追加登録するとき「追加登録」
  - すべてのデータを削除して登録するとき「削除して上書き」→「はい」→操作暗証番号を入力→**☐**(OK)
    - ・電話帳を受信した場合は、お客様のオーナー情報以外の電話帳は消去されます。オーナー情報が送信されてきたときは、電話番号以外の情報はすべて上書きされます。
  - ・受信を中止するときは **⏏** (キャンセル) を押します。
  - ・受信を強制終了するときは **⏏** を押します。

## 使いこなしチェック!

### 設定

- 赤外線通信で受信する (☞P.14-29)
- オーナーの情報を転送する (☞P.14-29)
- ファイルを送信する (☞P.14-29)
- データを一括送信する (☞P.14-29)

## USB 接続

本機を USB ケーブルでパソコンと接続し、データを送受信することができます。

本機は USB2.0 に対応しています。

本機を USB ケーブルでパソコンと接続する前に、USB ドライバと Samsung New PC Studio をインストールする必要があります。インストール手順やご利用いただけるパソコンの動作環境などについては SAMSUNG ホームページ (<http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/840download.html>) でご確認ください。

### USB 接続でできること

次のような操作ができます。

- パソコン側からの操作で本機のデータフォルダのファイルを転送する
- パソコン側から送信されたファイルを受信し、データフォルダに保存する
- パケット通信をする

### 注意

- 携帯電話とパソコンや PDA を接続してインターネットをご利用いただく場合 (モバイルデータ通信) は、短時間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額となる可能性があります。ご利用される場合は、通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

### カードリーダーモードでデータを送受信する

メモリーカードを取り付けた状態の本機とパソコンを USB ケーブルで接続することで、パソコンからメモリーカードにアクセスしてデータの読み書きができます。

### パソコンに接続する / 取り外す

- 1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続
- 2  → 「設定」 → 「外部接続」 → 「カードリーダーモード」 → 「はい」
- 3 操作用暗証番号を入力 →  (OK)
- 4 パソコンからデータを読み書き
  - S! メール の受信中や Samsung New PC Studio の利用中などは、カードリーダーモードはご利用になれません。
  - カードリーダーモードでの利用中は、通話やメッセージの受信などができません。
- 5 パソコンでハードウェアデバイスの取り外し操作
- 6 接続中に  (終了)
- 7 USB ケーブルの取り外し

### 注意

- ハードウェアデバイスの取り外し操作を行うまでは、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。

### 使いこなしチェック!

#### 設定

- カードリーダーモードを起動する (☞ P.14-29)

## メモ리카ードバックアップ

本機では、電話帳などのデータをメモ리카ードへバックアップ(一括保存)できます。バックアップしたデータはあとで読み込み(一括復元)できます。

- あらかじめバックアップしておけば、大事なデータを誤って消してしまったときでも、あとで復元できます。
- データの種類ごとに1つのバックアップファイルとして保存されます(転送日のファイル名が付きます)。
- バックアップできるデータの種類の、次のとおりです。
  - 電話帳
  - カレンダー
  - 予定リスト
  - 受信ボックス
  - 下書き
  - 送信済みボックス
  - 未送信ボックス
  - メモ帳
  - コンテンツ・キー
  - ブックマーク
- バックアップは、個人データの保存や同機種間(メモ리카ード対応機)での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的で行うことをおすすめします。

## メモ리카ードバックアップ時のご注意

- 電池残量が少ないときは、利用できません。
- バックアップやデータ読み込み中は、電話やメールは利用できません(着信もできません)。
- データの内容によっては、バックアップできないことがあります。また、バックアップしたデータの内容によっては、他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 本機またはメモ리카ードの空き容量が少ないときは、バックアップが正常に行えないことがあります。
- 本機に保存できる予定/用件は、カレンダーと予定リストを合わせて最大500件です。メモ리카ードからの読み込み中、500件に達すると、確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- バックアップ時、ブックマークのデータは、Yahoo! ケータイ、PC サイトブラウザのブックマークのデータをバックアップします。
- バックアップしたブックマークのサイズが大きいつき、データ形式によっては正しく読み込めないことがあります。
- 電話帳のバックアップ時、電話帳に設定した画像のサイズによっては、バックアップデータに含まれないことがあります。
- メモ리카ードにバックアップファイルとして保存されたあとは、メモ리카ードから読み込むまでは、本機でデータの内容を確認できません。

- コンテンツ・キーをバックアップするときには、次の点にご注意ください。
  - コンテンツ・キーのバックアップファイルは1つしか保存できないため、再度別のコンテンツ・キーをバックアップすると、前回のバックアップファイルは確認メッセージが表示されて上書きされます(前回バックアップしたファイルを残したいときは、メモ리카ードからコンテンツ・キーのバックアップファイルを本機へ読み込んだあと、あらかじめバックアップの操作を行ってください)。
  - 本機へ読み込み時、コンテンツ・キーは、本機内のコンテンツ・キーを上書きせず、追加します。

## メモ리카ードにバックアップする

- 1  →「設定」→「メモ리카ード保存・読み込み」→「メモ리카ードへ保存」
- 2 「はい」→操作作用暗証番号を入力 →  (OK)
- 3 「電話帳」/「カレンダー」/「予定リスト」/「受信ボックス」/「下書き」/「送信済みボックス」/「未送信ボックス」/「メモ帳」/「コンテンツ・キー」/「ブックマーク」
- 4 確認メッセージが表示されたら「はい」
  - バックアップを中止するときは  (キャンセル) →「はい」を選択します。
  - 「コンテンツ・キー」を選択した場合に、メモ리카ードに以前バックアップした「コンテンツ・キー」のバックアップファイルがあるときは、上書きをするかどうかの確認メッセージが表示されます。上書きするには  (はい) を押します。

## メモ리카ードから読み込む

## 項目を選択して復元する

- 1  →「設定」→「メモ리카ード保存・読み込み」→「メモ리카ードから読み込み」
- 2 「はい」→操作作用暗証番号を入力 →  (OK) →「選択項目」
- 3 「電話帳」/「カレンダー」/「予定リスト」/「受信ボックス」/「下書き」/「送信済みボックス」/「未送信ボックス」/「メモ帳」/「コンテンツ・キー」/「ブックマーク」
- 4 ファイルを選択
  - バックアップファイルを削除するときは、ファイルを選んで  (削除) →「はい」を選択します。
- 5 「追加」/「上書き」
  - 復元を中止するときは  (キャンセル) →「はい」を選択します。

## 自動バックアップから復元する

- 1  →「設定」→「メモ리카ード保存・読み込み」→「メモ리카ードから読み込み」
- 2 「はい」→操作作用暗証番号を入力 →  (OK) →「自動バックアップ項目」
- 3 項目を選択 →「はい」
  - 復元を中止するときは  (キャンセル) →「はい」を選択します。

## メモ리카ードに自動バックアップする

## 注意

- 本機能の使用には S! 電話帳バックアップサービス(有料)に加入が必要となりますのでご了承ください。
- 本設定を行う前に S! 電話帳バックアップの「自動保存設定」を「On」にしてください(☉P.13-10)。
- S! 電話帳バックアップサービス(有料)を申し込みをした方はお買い上げ時は S! 電話帳バックアップは「On」になっており、自動バックアップの周期は毎週となっております。
- 自動バックアップは、待受画面でのみ行われます。
- 自動バックアップが失敗した場合、翌日の同じ時間に自動バックアップが起動します。

1 □ →「設定」→「メモ리카ード保存・読み込み」→「自動バックアップ」

2 「バックアップ周期」

3 「周期」

- 週に1回バックアップするとき  
「毎週」→曜日を選択
- 月に1回バックアップするとき  
「毎月」→日付を入力

4 「開始時間」→開始時間を入力

→ 

5 「バックアップ項目」→バックアップする項目をチェック →  (保存)

6 「暗号設定」→「電話帳」/「カレンダー」/「予定リスト」/「メール」/「メモ帳」/「ブックマーク」  
→「On」/「Off」

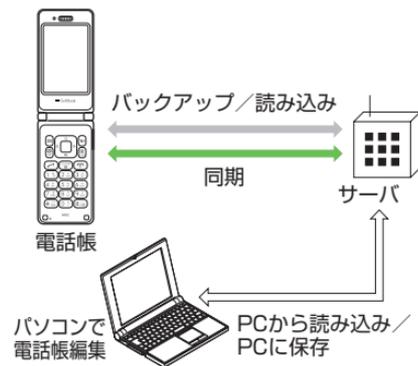
## 使いこなしチェック!

## 設定

- メモリのバックアップをとる (☉P.14-28)
- バックアップしたデータから復元する (☉P.14-28)

## S! 電話帳バックアップを利用する

S! 電話帳バックアップとは、本機の電話帳をサーバにバックアップしたり、本機の電話帳とサーバ内の電話帳の同期をとる(同じ状態にする)ことができるサービスです。本機の破損時や紛失時の備えとして、便利にお使いいただけます。



## ご利用いただく前に

### 注意

- S! 電話帳バックアップのご利用には、別途お申し込みが必要です(有料)。
- S! 電話帳バックアップのご利用時(保存／読み込み、更新)には、パケット通信料が発生します。
- 機種変更をしても、他の S! 電話帳バックアップ対応機で電話帳を引き継ぐことができます。  
ご利用のお申し込み後は、ネットワーク自動調整実行時に自動保存設定\*が「On」になり、電話帳編集後に自動でバックアップを行います。
- お客様ご自身で自動保存設定を「Off」に設定した場合も、再度ネットワーク自動調整を実行すると自動的に「On」に変更されますので、ご注意ください。
- サービス解約後は、自動保存設定が「Off」になっていることをご確認ください。  
※ 自動保存設定の「保存モード」は「通常」に設定されます。電話帳を編集してから約 10 分後に同期が実行されます。

## 同期に関する注意

同期モードの種類は次のとおりです。

同期モード	説明
通常	本機の電話帳更新情報のバックアップ、サーバ上の電話帳の更新情報読み込みを同時に行います。本機の電話帳とサーバ上の電話帳で同じフィールドを更新していた場合は、基本的にサーバ上の電話帳更新情報を優先します。
保存 (変更分のみ)	本機の電話帳更新情報をバックアップします。
保存 (全件上書き)	既存のサーバ上の電話帳をすべて消去し、新たに本機の電話帳をすべてバックアップします。
読み込み (変更分のみ)	サーバ上の電話帳更新情報を読み込みます。
読み込み (全件上書き)	既存の本機の電話帳をすべて消去し、新たにサーバ上の電話帳をすべて読み込みます。ただし、本機の電話帳が保存できる件数以上は読み込めません。サーバ上の電話帳で編集を行った日付が新しい順に本機の電話帳に読み込まれます。

• 初めて利用する場合や、前回の同期が途中でキャンセルされるなど正常に終了しなかったあとに同期を行ったときは、設定にかかわらず「通常」の同期モードで同期が行われます。

- 次の項目は S! 電話帳バックアップで同期できません。  
「読み込み(全件上書き)」を行うと、本機本体の電話帳の設定が失われますので、ご注意ください。
  - フォト
  - 着信音設定、バイブ設定(音声通話／TV コール／メール)
  - 血液型
- 保存／読み込みのタイミングや同期の方向にご注意ください。
  - 本機本体の電話帳をすべて削除したあと「通常」、「保存(変更分のみ)」、「保存(全件上書き)」を行うと、サーバ内の電話帳もすべて削除されます。
  - サーバ内の電話帳をすべて削除したあと「通常」、「読み込み(変更分のみ)」、「読み込み(全件上書き)」を行うと、本機本体の電話帳もすべて削除されます。
- 電話番号など、複数登録できる項目の登録可能件数が、本機(または機種変更後の機種)とサーバとで異なる場合に、同期を行うと、両方も少ない方の件数に統一されます。
- S! 電話帳バックアップを解約すると、サーバ内の電話帳は削除されます。

## 電話帳の同期を行う

サーバで管理している電話帳に接続して、本機の電話帳と同期できます。

### 注意

•同期を開始すると、ネットワークに接続します。ネットワークの接続中は通信料が発生します。同期が終了すると、自動的にネットワークの接続を解除します。

- 1  →「電話機能」→「S! 電話帳バックアップ」→「開始」
  - 「通常」の同期モードで同期を行います。
  - 「保存(変更分のみ)」／「保存(全件上書き)」／「読み込み(変更分のみ)」／「読み込み(全件上書き)」の同期モードで同期を行う場合は、 →「電話機能」→「S! 電話帳バックアップ」→「詳細」→「保存・読み込み」→項目を選択してください。
  - →「ニュース／エンタメ」→「S! 電話帳バックアップ」→「開始」を選択しても同じ操作ができます。

## 電話帳の自動保存設定を行う

「自動保存設定」を「On」に設定すると、更新頻度と更新モードを設定する必要があります。

- 1  →「電話機能」→「S! 電話帳バックアップ」→「詳細」→「自動保存設定」
  - →「ニュース／エンタメ」→「S! 電話帳バックアップ」→「詳細」→「自動保存設定」を選択しても同じ操作ができます。
- 2 「On / Off 設定」→「On」
- 3 設定の選択操作
  - 月に 1 回バックアップするとき  
「毎月」→日付欄に日付を入力→時間欄に時間を入力→ (OK)
  - 週に 1 回バックアップするとき  
「毎週」→曜日を選択→時刻設定欄に時刻を入力→ (OK)
  - 電話帳編集 10 分後にバックアップするとき  
「電話帳編集後」
- 4 「通常」／「保存(変更分のみ)」／「保存(全件上書き)」／「読み込み(変更分のみ)」／「読み込み(全件上書き)」
- 5  (OK)

•自動保存設定を解除するには、操作 2 の「On / Off 設定」で「Off」を選択します。

## 便利な機能

### S! 電話帳バックアップ

S! 電話帳バックアップの履歴を確認したい

→「電話機能」→「S! 電話帳バックアップ」→「詳細」→「履歴」→履歴を選択

S! 電話帳バックアップの履歴を削除したい

→「電話機能」→「S! 電話帳バックアップ」→「詳細」→「履歴」→履歴を選んで  (削除) →「はい」